

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助の理論と方法 I		(社) 必修 (精.発) 選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮村 りさ子	B312	risako.miyamura		木曜日 11:00~12:30	
授業の目的・概要	<p><目的>現代社会において、様々な課題を抱えて支援を求めている人々に対して、ソーシャルワーク実践を展開するために必要不可欠な理論と方法を修得することを目的とする。</p> <p><概要>本科目は、人と環境の相互作用に関する理論、ソーシャルワークの過程、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチなどソーシャルワーカーとして実践に携わる上で求められる知識や技術について、教科書や資料をもとにグループワークやプレゼンテーションを取り入れた講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	本科目では、ソーシャルワークの実践モデルやアプローチなどソーシャルワーカーとして不可欠な実践的な知識や技法を修得する。専門用語が分からないままにならないように予習と復習をしてください。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目] / 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 中央法規出版株式会社				
参考書	教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの意義、構造と機能について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、HC(3)(5)	
②	対人援助技術としてのソーシャルワークの基礎的な技術を習得できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)(6)	
③	人と環境との交互作用に関する理論とソーシャルワークについて理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)(6)	
④	ソーシャルワークの様々な過程について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)(6)	
⑤	ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、HC(1)(2)(3)(5)(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	講義	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。	4	
2	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク①「ソーシャルワーカーが学ぶ理論」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
3	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク②「システム理論」「生態学理論」「バイオサイコソーシャルモデル」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
4	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク③「ミクロメゾマクロレベルにおけるソーシャルワーク」「ソーシャルワークの目標と展開過程」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
5	ソーシャルワークの過程①「ケースの発見」「インテーク」を学び、「インテーク」を習得する。	講義・GW 発表	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
6	ソーシャルワークの過程②「アセスメントの意義と目的」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
7	ソーシャルワークの過程③「アセスメントの方法」「アセスメントの留意点」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
8	ソーシャルワークの過程④「プランニングの意義と目的」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
9	ソーシャルワークの過程⑤「プランニングのプロセスと方法」「プランニングにおける留意点」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
10	ソーシャルワークの過程⑥「支援の実施」「モニタリング」「効果測定」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
11	ソーシャルワークの過程⑦「効果測定」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	
12	ソーシャルワークの過程⑧「支援の終結」「支援の結果評価」「アフターケア」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

13	ソーシャルワークの過程⑨「支援の結果評価」「アフターケア」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4					
14	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①「ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方」	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4					
15	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②「ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ」	講義	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4					
試	定期試験の実施 / 達成度評価・評価のポイントを参照する。								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		60	0	30	0	10	100		
総合力指標	知識・技術力	50	0	5	0	0	55		
	思考・推論・創造する力	10	0	5	0	0	15		
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5		
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5		
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～⑤について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は、主に選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～⑤に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。				正答や模範解答を公表する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
レポート	①		第5回の授業時では「インテーク」についてグループワークを実施し、グループで考えや意見をまとめて発表する。				第6回の授業時に口頭でフィードバックする。		
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。				次回の授業の初回に、フィードバックする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓							
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 2) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。								